

＜特集＞頼りになります。女子力！

- 1 災害時は、女子力を発揮！
- 2 ☆きらめきインタビュー☆ 石橋消防署消防士 大塚雅美さん

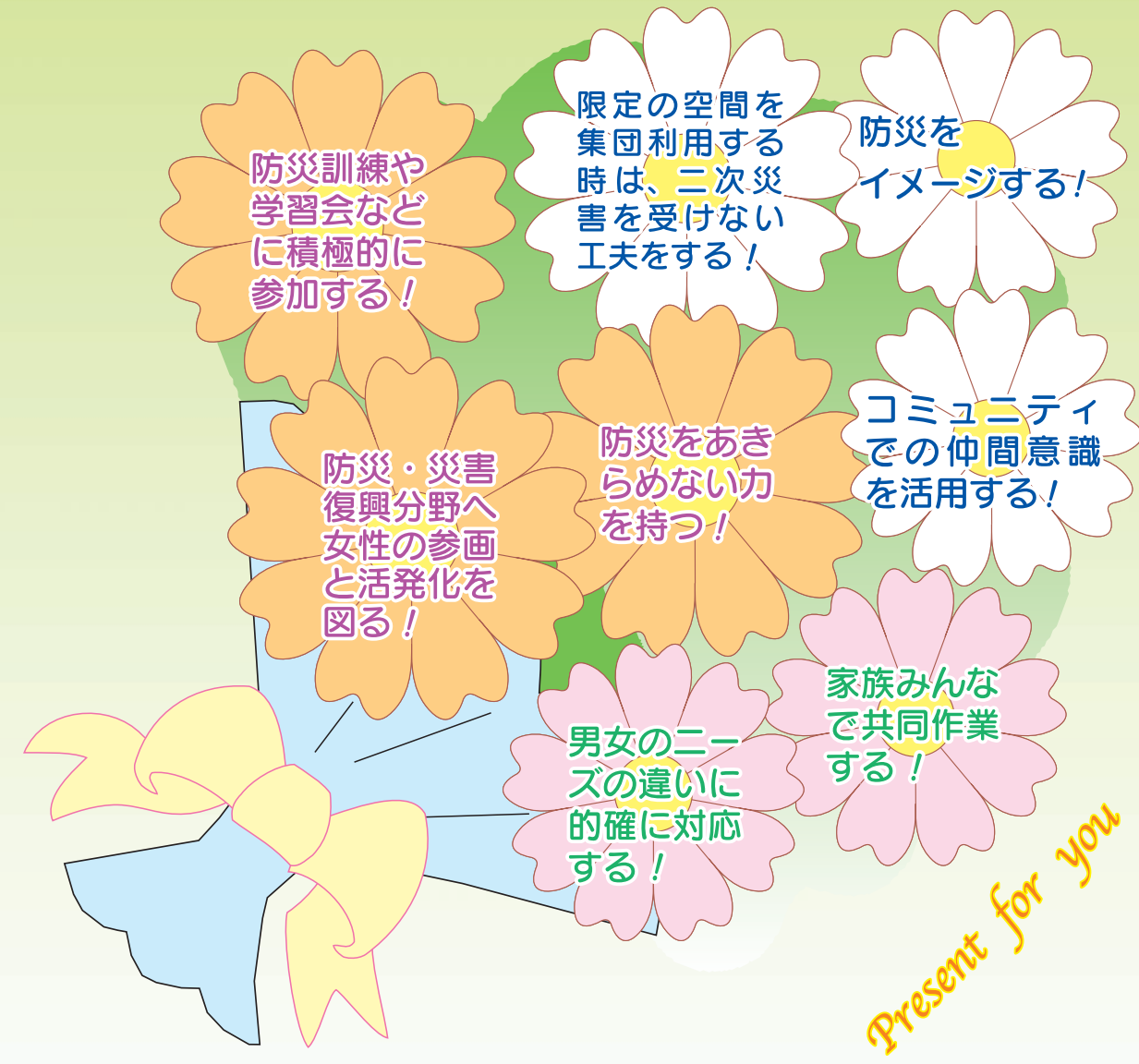
2011.9
第6号
下野市男女共同参画情報紙

Sharing

シェアリング ～わかちあい～

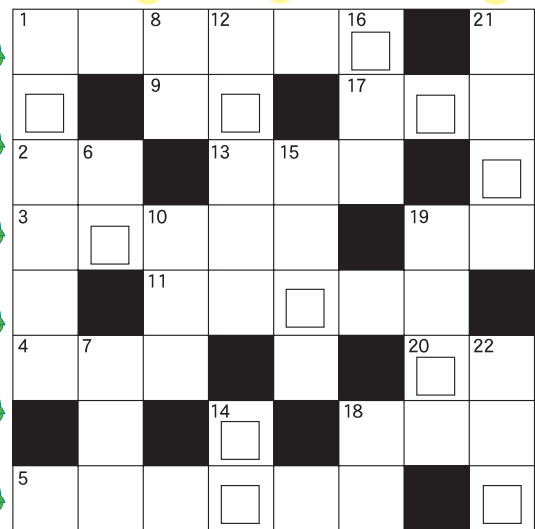
＜特集＞頼りになります。女子力！

- 1 災害時は、女子力を発揮！



タイトル由来
みんなが“わかちあう”大切さをもって、男女が協力しながら、男女共同参画社会をつくっていかれたとの願いが込められています。

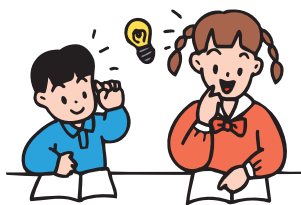
あたまたの体操！おためしあれ！！



- よこのカギ
- 1 レアとベイクドどっちが好き？
 - 2 地球の中心
 - 3 コンデンスミルク
 - 4 宝くじもそうです
 - 5 映画の友
 - 9 見える人と見えない人がいます
 - 11 登場人物が多いときはこれがあると助かります
 - 13 アイス作りでは氷に塩をかけると温度が下がる現象を〇〇〇〇します
 - 17 縦の1を溶かす時はこのやり方です
 - 18 ゼラチンを使って作ります
 - 19 蜂が集めたものを収穫します
 - 20 はまると大変

- たてのカギ
- 1 原料カカオ
 - 6 つぶ、こし
 - 7 これでプリンを作っちゃうんです
 - 8 兄弟でおやつを分ける時はわずかな〇〇がけんかの原因になります
 - 10 人間の歩行
 - 12 岩魚や山女の住処
 - 14 製造後1週間経ったまんじゅうを食べるのは〇〇責任でお願いします
 - 15 お中元には水〇〇〇〇
 - 16 取り越し苦労
 - 18 ジキル博士とハイド氏の場合ジキル博士の方
 - 19 一時中断
 - 21 白玉みつ豆
 - 22 初めての共同作業で切ります

□枠の文字を並べ替えて、下記の言葉を完成させてください。
『ジョ〇〇ノ〇ナサン
ダン〇〇ノ〇〇ネヲ〇エテ、ジブ〇ラシク〇キイ〇トイキテイキマシヨウ!!』



ジェンダー川柳

性差より やる気次第で 仕事くる

「男なら 耐えて見せろ」と 妻はいう

主婦と主夫 線引きしない 思いやり

(バルティとちぎ女性センター発行紙から)

ジェンダー川柳を募集しています！

あなたの作品が情報紙に載るかもしれませんよ。
下記（下野市総合政策課）まで、ご応募お待ちしております！

●ご意見等を募集しています！
男女共同参画情報紙「シェアリング～わかちあい～」に関する皆様方のご意見・ご感想を随時募集しています。
また、男女共同参画に関して、身の回りで感じていることなどもお寄せください。お待ちしております。

編集後記 <編集委員> 松本文男・山口容子・中川美恵子・楡木久美子・楡木悦夫・井上永子

男女共同参画紙『シェアリング』第6号は、いかがでしたか？

- ・災害は、人にとって「何がもっとも必要で、何が不必要なのか」を浮き彫りにしてくれますね。これまでのライフスタイルを一度リセットして、無駄なものをそぎ落とした生き方をしたいものです。
- ・震災後、結婚したいと考える人が増えたとか。やっぱり、支えあう相手が欲しいですね…。
- ・情報紙「シェアリング」に、興味・関心を持っていただき、お役に立てたら！そして多くの方に、男女共同参画社会について、ご意見がいただけたらと思っています。お待ちしておりますね。
- ・震災後、防災について考えるようになり、今回、最前線で仕事をしている方からお話が聞けて良かったです。
- ・昨年より編集に携わる機会を得ました。出来るところから…再始動という感じです。袖すり合う縁をも生かしつつ、行き先を見極めようと自分なりに奮闘中です。
- ・編集委員が数か月をかけて作り上げた情報紙です。役立つ情報が満載では!?

クロスワードの答え：女性の皆さん 男女の垣根を越えて、自分らしくイキイキと生きていきましょう！！

企画・編集 下野市男女共同参画情報紙編集委員会
発行 下野市総合政策部総合政策課
〒329-0492 栃木県下野市小金井1127番地
TEL：0285-40-5550 FAX：0285-40-5572 E-mail：sougouseisaku@city.shimotsuke.lg.jp

石橋消防署 消防士
大塚 雅美 さん

『消防』という男性中心の職場の中で、日頃の活動や女性の消防士としての役割などについて、お話をお伺いしました。



石橋地区消防組合とは？

下野市の他に、上三川町・壬生町の1市2町（総人口約13万人）を管轄し、職員数167名の体制で消防業務を行っています。消防署には、警防係（消防隊）・救急係・救助係（レスキュー隊）・予防係があり、24時間交代で日夜市民の暮らしを見守っています。唯一女性の消防士である大塚さんは「救急係」に所属し、救急車による搬送業務を行っています。（詳しいことは下記参照）

管内には2か所の大学病院があり、全国的に見ても恵まれた医療環境ではありますが、近年、救急車のたらい回しや不適正利用等も問題になっており、救急搬送受入ルールを作るなど医療体制の充実を進めています。

○救急係



病気やケガをした人の手当をし、それ以上に症状を悪化させないように、迅速安全に医療機関へ搬送する業務を行っています。いざ出動!!という時は3人体制で救急車に乗り、現場へ向かいます。

※平成22年度の救急出動は3,622件で、1日あたり平均9.9件の割合で救急車が出動しています。

石橋地区消防組合：下野市下石橋246番地1 TEL：0285-53-0509 E-mail：shobo-ishibashi@119-ifd.or.jp

大塚雅美さんは平成21年4月に採用され、救急隊で救命士として活動しています。現在までに約450件の出動をしています。その経験を踏まえ、次のような質問にお答えいただきました。



この仕事を選んだきっかけは何ですか？

専門学校で救命士の資格を取得したので、その資格を活かせる職業を考え「消防士」になりました。運動はあまり得意ではなかったのが不安があり、学生の時には消防士を目指す女子10人で「女子体力錬成部」を作って走り込みなどの体力づくりをし、消防士になるための基礎づくりをしました。

普段はどのような訓練をしていますか？

人形を使った心肺蘇生など医療関係の内容がメインの訓練になっています。

他には、現場を想定したシミュレーション訓練などを行っています。

常に心がけていることは何ですか？

ケガや病気で不安になっている人が相手なので、話しかけるときは名前を呼んで、誰に話しかけているかわかるようにしたり、視線を合わせるなどコミュニケーションには特に気を付けています。

将来の夢は何ですか？

今の石橋消防署には、女性が1人しかいないので、もっとたくさんの女性が関わり、採用されて仲間が増えると嬉しいです。時には、女の子トークがしてみたいです！

女性の救急係としては？

搬送する人が体格のいい人だったり、危険な場所だったりすると、私は活動が難しいため、3人での活動が1人使えないことになり、他の隊員の重荷になってしまっていると感じることもあります。正直なところ、男性との体力の差はいろいろな場面で感じてしまいます。

男性の中に女性1人の職場でも、休憩室・更衣室や浴室などの施設面やその他いろいろと配慮していただいているおかげで、係の仕事に集中でき、感謝しています。



◇男性隊員にお聞きしました。「女性がいることで、安心する方も多いのではないですか？」

女性隊員は、男性隊員と接し方が全く違うため、利点もたくさんあります。特に、女性や子ども、お年寄りにやさしく接してくれています。対応する隊員が3人も男性だと威圧を感じるのか、怖がったり泣き出してしまう子どももいます。

男性隊員が聞きにくい質問なども女性隊員なら聞きやすいし、相手の方も言いやすいと思います。今後も、どんどん女性隊員が増えてほしいですね。

<坂本隊長>



防災について **市民へのメッセージ**



119番は通信指令課に！

「用意周到」に心掛けてください。災害があつてからではなく、日ごろから準備しておくことです。「危機管理」という言葉を念頭において、家族で話し合いシミュレーションしておくことです。いざという時は、声を掛け合うなど周りとの協力が必要です。地域とのつながりを深めるために、普段からコミュニケーションをとっておくことが大切です。

<坂本隊長>

下野市は防災無線を設置するなど防災意識は高いです。3月11日以降さらに高まったと思います。消防は1%でも起きる可能性を考えて訓練していますが家庭でも常日ごろから考えておくことが大切です。

私の家では必要なものはまとめておき、避難場所や避難ルートを決めています。

<中山隊員>



迅速な対応を心掛けています！



災害の時、小さな子どもがいる女性が不安になったり、避難できなかったりすることがあるかもしれません。そんな時、地域の知合いは大切です。

私たちは、女性防火クラブなど地域の方々と研修をしています。今後、地域で活動する女性リーダーが重要になってくると思います。

<大塚隊員>

取材をふりかえって！

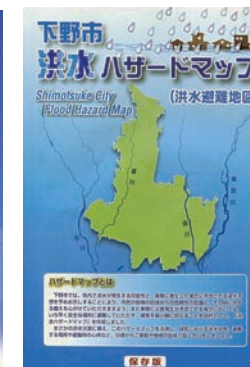
性別で職業が限定される時代ではなくなりましたが、それを可能にするのは、本人の人一倍の努力と周りの理解・協力なのかもしれません。また、今回の取材では、防災についてアドバイスも伺いました。災害時、女性の力も重要だとあらためて感じました。

担当：山口容子・楡木久美子

◇各家庭に配布されているガイドブックなどを活用しましょう！



防災ガイドブック



洪水ハザードマップ



暮らしの便利帳